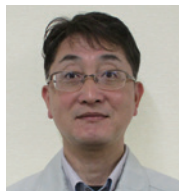


我が社における保安活動の取組み (優良販売業者編)



北酸株式会社 保安・技術部 部長

早垣 紀夫

1 はじめに

北酸株式会社（以下、「当社」という）は、1937年に設立し、このたび84年目を迎えた。当社は富山県内および新潟県内の4事業所で一般高圧ガスおよび液化石油ガスの販売事業を営んでいる。

当社は製造部門と輸送部門を分社化しており、北酸グループとして製造部門の北酸高圧瓦斯(株)、一般高圧ガスおよび液化石油ガス輸送部門の北酸物流(株)、液化石油ガス輸送部門の山口郵便通送(株)がある。

2 会社沿革

- 1937年 北陸物産株式会社を設立
一般高圧ガスの販売を開始
- 1944年 北陸地方酸素株式会社へ社名変更
- 1950年 高岡支店を開設
- 1955年 液化石油ガスの販売を開始
- 1956年 北酸株式会社（現社名）へ社名変更
- 1957年 魚津支店を開設
- 1962年 東京支店を開設
- 1977年 上越営業所を開設
- 1998年 総合ガスセンターを開設
- 2020年 第二号認定液化石油ガス販売事業者となる

3 表彰履歴

- 1998年 富山県エルピーガス協会会長表彰
(優良事業所)
- 2011年 富山県知事表彰 (優良事業所)
- 2012年 中部近畿産業保安監督部長表彰
(優良販売業者)
- 2016年 経済産業大臣表彰 (優良販売業者)

4 保安に対する考え方

当社の社是は「喜んで貰いましょう」である。これはお客様だけでなく、地域の人たちや社員の家族も含まれる。「喜んで貰う」には、「安心」「安全」「安定」が重要であり、保安を確保し、継続的に向上することは当社にとって最重要課題といっても過言ではないと考えている。

また、保安活動には「ゴール」「100点」はないと考えている。現状に満足せず、絶えず改善意識をもって取り組んでいかなければならない。

5 保安活動について

当社とグループ会社の経営陣を中心とした「北酸グループ合同保安会議」を毎年開催し

表1 保安活動計画

2020年度 保安・技術部 保安活動計画表

保安・技術部
2020年4月15日作成

No.	名 称	分 類			対 象 先		実 施 予 定 月												
		会議	研修	教育	北越	北越 高圧	山口 物流	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	北越グループ合同保安会議	○																	
2	保安査察		○		○	○	○			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3	LPガス定期監査		○		○					●									
4	高圧ガス配送員保安教育			○	○	○	○			●	●			●	●				
	保安教育			○	○				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	高圧ガス配送車両同乗監査		○			○	○			●			●						
										●			●						
7	高圧ガス配送車両点検			○		○	○							●					
8	高圧ガス移動防災訓練			○	○	○								●					

ている。この会議の場で、事件事例や各社の保安活動事例といった保安情報の共有化を図っている。また、グループ全体の1年間の保安活動計画(表1)が決定される。この北越グループ合同保安会議がグループ全体の保安活動を決める最も重要な場である。

主な保安活動は以下のものがある。

(1) 保安査察

当社およびグループ会社の計10事業所を対象に保安査察を行っている。高圧ガス保安法および液化石油ガス法を中心とした高圧ガス関連法規の順守状況を確認している。

保安査察では、他事業所の法定選任者(販売主任者、業務主任者等)も査察員として参加している。同じ立場の法定選任者が他事業所の保安査察に参加することにより、お互いを刺激しあうとともに好事例の水平展開や資質向上の機会としている。

実施結果は年度単位で集計・分析し、社内開示すると同時に、次年度の保安査察重要項目の策定に活かしている。

(2) 高圧ガス配送車両同乗監査

配送員の車両に同乗し、独自のチェックリストを用いて移動の基準(高圧ガス保安法)および容器交換時等供給設備点検(液石法)の順守状況の監査をしている。あわせて安全運転やお客様への対応マナーの指導を行っている。一人作業のため、ややもすると個人差が生まれる配送業務の標準化を図っている。

(3) 高圧ガス配送員保安教育

普段から高圧ガスを取り扱うことの多い配送員向けの保安教育は特に力を注いでいる。

一般高圧ガス部門、液化石油ガス部門ごとにテーマをわけて実施している。講師の一方的な教育にならないように、カットサンプルを用いた高圧ガス機器の説明(写真1)や物性実験(液化ガスを用いた液封、酸欠等)、自社で製作した動画「不適切な容器配送」を用いたグループワーキング等により配送員自らが「見て」「触って」「考える」講習内容を心がけている。

本教育は配送員だけでなく当社若手社員も



写真1 保安教育



写真2 防災訓練

参加し知識・意識の向上を図っている。

(4) 高圧ガス消費先点検

取引開始時および2年に1回の頻度で一般高圧ガス消費事業者（お客様）の設備点検を行っている。チェックリストを用いて、高圧ガス容器の保管状況や調整器等高圧ガス機器の安全状況を確認している。すべての消費事業者を対象にしているため多大な労力を要するが、お客様の保安の確保を目的として実施している。点検にあわせて高圧ガス容器の所在確認も同時に行い、長期間貸し出している容器についてはお客様に説明の上、できる限り回収に努めている。

(5) 防災訓練

毎年10月に開催している富山県主催の高圧ガス移動防災訓練に参加している。訓練参加会社として主に高圧ガスの物性実験を行っている。

今年は液化窒素を使用した「液化ガスの物性実験（酸欠）」を行った（写真2）。液化ガスが密閉空間で漏えいした場合、急激に酸素濃度が低下することを実演し、不活性ガスである窒素ガスでも取り扱いを間違えると危険なガスに早変わりすることを見学者に説明した。

訓練参加者は毎年メンバーを変えており、本防災訓練を社員教育の場として位置づけている。

6 今後の抱負

北酸グループの安全キーワードは「安全へ高い意識と確かな知識」である。どれだけ知識が豊富でも、安全に対する意識が薄ければ安全とは言えず、逆に意識だけ高くても知識を兼ね備えていなければ不十分である。さまざまな保安活動を通じて、お客様に安心と安全を提供し続けていけるように尽力していく。

早垣紀夫（はやがき のりお）